

令和8年度 事務事業評価シート（1）

[令和7年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	健康推進・がん対策推進事業				事業番号	011-187	
担当部署名	健康福祉局	局	健康部	部	健康推進課	課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(1)健康で長生きできる都市の実現
			有	取組の方向性	②生活習慣病の発症予防・重症化の予防		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
	堺市SDGs未来都市計画2021-2025	施策との関連	有・無	指標名	—	目標値	—
			有	現状値	—	目標値	—
		寄与するKPI	有・無	指標名	—	目標値	—

2	関連計画	さかい健康プラン		
3	事業開始年度	平成 20 年度	点検対象年度（堺市基本計画2030）	令和 12 年度
4	実施根拠	健康増進法、がん対策基本法、堺市がん対策推進条例		

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁、各区					
6	事業の対象	堺市民（がん検診の対象者は、20歳以上の女性、40歳以上の男性）				対象数	単位
						約80万	人
7	事業の目的	がんについて正しく理解し、予防のための行動を自発的にを行い、定期的に検診を受ける市民が増えることで、将来的ながんによる死亡者の減少を実現する。					
8	事業内容	<普及啓発> ・受診案内（リーフレット等）、市ホームページ、SNS（公式LINE等）、けんしん総合サイト等による普及啓発。 ・保健センターの保健師によるがんに係る健康教育の実施。 ・NPO法人や患者団体と連携した啓発活動（地域に向いて健康教育やイベント時の啓発活動）の実施。 ・人生会議（ACP）の啓発。 <個別勧奨通知> ・節目年齢等の対象者へのはがき・リーフレット送付による受診勧奨の実施。 ・不定期受診者を対象としたSMS（ショートメッセージサービス）による個別通知受診勧奨、再勧奨の実施。 <がん患者の支援> ・がん患者会等のピアサポート活動の支援。 ・がん患者のウィッグ等購入費用の助成。					
	※国・府の基準より上回って実施した内容						
9	主な支出先	受診勧奨委託事業者、市内がん患者他					
10	公民連携・協働事業	関西大学と連携し若年層へのがん啓発を実施、民間企業との連携による啓発チラシの作成・配布					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位		実績		目標	目標
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
	悪性新生物（がん）の死亡率（人口10万人対）	—	目標値	317.5	317.5	325.2	325.2
			実績値	327.0	集計中		
			達成率	97%	—		
	当該指標を選定した理由	がんによる死亡者を減らすという本事業の目的と合致するため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	過去3年間の平均値(R4-R6)から悪化させないという観点で設定。					
12	活動指標	単位		実績		目標	
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	個別受診勧奨実施件数	件	目標値	150,000	155,000	155,000	
			実績値	150,965	152,856		
			達成率	101%	99%		
	当該指標を選定した理由	受診率向上には個別受診勧奨等が効果的とされており、はがきやSMSなどの手法を用いた効果的なタイミングで個別受診勧奨を行うことによって、検診受診につなげるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	過去の実施や取組状況を踏まえつつ、予算の範囲内で過去の実績を上回る水準を目標値として設定している。					

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	健康推進・がん対策推進事業	事業番号	011-187
-------	---------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和5年度	令和6年度	令和7年度		令和8年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	15,245	11,228	23,198	20,914	29,822
	国支出金	3,101	1,740	1,367	1,861	1,522
	府支出金	0	0	0	0	650
	市債	0	0	0	0	0
	その他（がん対策事業指定寄付金）	194	103	150	100	120
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
	一般財源	11,950	9,385	21,681	18,953	27,530
14	人件費（b）	4,280	9,350	18,520	18,520	12,390
15	年間経費（c）=(a)+(b)	19,525	20,578	41,718	39,434	42,212

事業費の内訳

（単位：千円）

16事業費内訳	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
	報酬・報償費	R7	決算	276	276	受診勧奨通知電算事後処理業務	R7	決算	8,169	6,308
		R8	予算	451	336		R8	予算	11,917	10,395
	旅費	R7	決算	6	6	検診WEB予約システム委託料	R7	決算	1,056	1,056
		R8	予算	25	25		R8	予算	1,056	1,056
	消耗品費	R7	決算	173	173	その他委託料	R7	決算	143	143
		R8	予算	183	173		R8	予算	600	200
	印刷製本費	R7	決算	821	774	その他使用料及び賃借料	R7	決算	0	0
		R8	予算	1,168	1,013		R8	予算	80	10
	通信運搬費（郵便料）	R7	決算	56	56	扶助費 がん患者アピアランスケア推進事業	R7	決算	10,214	10,161
		R8	予算	442	422		R8	予算	13,900	13,900

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

	区 分	単位	令和6年度	令和7年度
17	① 個別受診勧奨実施件数	人	150,965	152,856
	② 上記①にかかる年間経費	千円	8,886	8,169
	③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	59	53
算出についての説明等		個別受診勧奨にかかる費用を算出		

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	個別受診勧奨について、SMSを用いた受診勧奨を取り入れたこと等により、受診勧奨件数が増加し、目標値の達成や経費削減を実現できている。 受診者数については、コロナ禍以前の実績（令和元年度5がん合計128,236人）に達しておらず、個別受診勧奨や幅広い啓発等の実施など、受診者数の増加に向けた更なる取組が必要である。また、令和7年度から新たにがん患者アピアランスケア推進事業を開始し、約350人のがん患者にウィッグや人工乳房等の購入に要した費用の助成を行った。
----	---

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	がん検診の自己負担金無償化、受診勧奨や啓発等を実施し、市民に定期的ながん検診受診を促すことで、がんの早期発見、早期治療につなげることが可能となること、また、がん患者アピアランスケア推進事業により、がん治療に伴う外見の変化に伴う社会参加への不安や精神的ストレス等を軽減し、治療を継続しながら社会生活を送るための支援を行っている。これらのことから、堺市基本計画2025の「健康で長生きできる都市の実現」やさかい健康プランの「個人の行動と健康状態の改善」に寄与したと考える。 今後も、ICT(SNS等)や企業連携の機会を活用した多種多様な手法で啓発や受診勧奨を実施し、がん検診の周知や正しい知識の普及を行うなど、受診者数の更なる増加及び受診率向上に向けて取り組む。
----	--

令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）

20	必要性	■ 高い □ 低い	がんの早期発見による死亡率低減は、市民の健康寿命の延伸の観点から重要な課題であり、受診率向上に向けた行政の関与は不可欠である。
	有効性	■ 高い □ 低い	